

市長コラム

夢かなうまち
おびひろ

高校生との対話を通して

帯広市長 米沢 則寿



先日、地元食材を使用した料理コンテストで、全国323チームの頂点に立った南商業高校クッキング部の3人と、市民トークを実施しました。

大会出場の過程で、地元の企業や大人たち、他校の生徒など、たくさんの人との素敵な出会いがあったこと、調理の改善・工夫はもちろん、審査員へのプレゼンの練習を何度も重ねたこと、その時々で自分たちが出来ることに一杯取り組んできたことを明るい笑顔で話してくれました。

地区大会で一度は敗退したものの、悔しい気持ちをばねに挑んだ敗者復活戦から、全国への切符をつかみ取った逆転優勝であり、喜びもひとしおだったと思います。

昨年は、三条高校の地域課題を考える授業にお邪魔する機会もあり、生徒の皆さんが行うグループワークに参加しながら、緑ヶ丘公

園周辺の活性化について意見交換しました。グループワークでは、隣に居る私の存在も意識しないほど、夢中でアイデアを出し合い、みんなが臆せずに発言していたことが印象的でした。

大人になると、間違えることをためらって発言を避けたり、相手の顔色をうかがい、自分の考え方を否定されないような無難な言動をしがちですが、高校生の皆さんの純粋な気持ちや真面目な姿勢、そして枠にとらわれない柔軟な発想や思いもよらない視点に触れるたび、彼らを子ども扱いせず、自分も真剣に答えなければいけないと思わされます。

高校生は、社会につながる大事な時期にいますが、まだまだ知らないことや未熟なことも多くあります。周りの大人や同世代の仲間との関わりを通して、自分に足りない部分に気付いたり、多くの刺激を受けたりして、自己の成長を高めていくことが大切ではないかと思えます。

私は、高校生のものの見方や意見を聞ける場を持ちたいと思い、これまで幾度と市民トーク等を実施してきました。

私たち大人は、彼らをおだてたり、考えにおもねったり、あるいは大人の常識や価値観を押し付けたり、まちづくりへの関わりを強いたりするのはなく、ものごとの背景や本質の気付きにつながる疑問を投げかけながら、双方の真剣なやり取りを通して彼らの視野を広げ、この地域で貴重な青春時代を過ごす中で、さまざまに経験を、考え、成長していける環境を提供することが重要ではないでしょうか。

児童会館に木育キッズスペースと木製遊具が増えました

問い合わせ 児童会館(緑ヶ丘2、☎24・2434)、農村振興課(市庁舎7階、☎65・4173)

市の「木育推進事業」により、児童会館2階に木育キッズスペース「木のおもちゃランド」を新設しました。木製の床に座って木の質感を感じながら、木製遊具で遊べます。

また、授乳室を1カ所から2カ所に増やし、新たな授乳室には木製のおむつ交換台とベンチを設置しました。



遊び場コーナーの「木の遊園地」に、くぐる・登る・またぐ・抱きつくことで木のぬくもりを感じて遊ぶことができる「木のトンネル」が増えました。



1階の「わくわくコーナー」には、磁石で壁にくっつく木製レーンを自由に組み合わせ、コースをつくって木の玉を動かしゴールを目指す「マグネットレーン」を新設しました。



「木育推進事業」って?

市では、森林整備の促進のため国から譲与される森林環境譲与税の一部を木材利用や普及啓発などに活用しています。その取り組みとして、幼い頃から木に触れる機会をつくることで木や森への関心を育む木育推進事業を令和4年度から進めており、児童会館や市内保育所などに地域材を使用した木製品を順次設置しています。

市政のお知らせを放送しています

- ◆テレビ 市役所だより(OCTV 11ch)毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。
- ◆ラジオ(毎週月・水・金曜日)おびひろタウンインフォメーション(FM-JAGA77.8MHz) 9:15~9:20
おびひろ広報メモ(FM-WING76.1MHz) 9:30~9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。

問い合わせ 広報広聴課(市庁舎3階、☎65・4109、FAX 23・0156、Eメール report@city.obihiro.hokkaido.jp)

OBIIHRO CAMERA REPORT オビヒロカメラレポ



子どもに読書の楽しみを知ってもらうため、毎月第2・4水曜日に、乳幼児向けの「おはなし会」を図書館で開催しています。



この日は、歌に合わせた手遊びからスタートし、親子で一緒に手を動かした後は、絵本や紙芝居の読み聞かせを楽しみました。絵本のストーリー「ほっぺをすりすり」に合わせて、親子で同じ動きをやってみるなど、参加型のおはなし会はあっという間に終わり、終わった後も参加者同士で交流する姿が見られました。(2月22日、図書館)



令和5年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の一部競技が帯広市で開催されるに当たり、募集したポスター図案の表彰式を行いました。



募集したポスター図案は、女子サッカー、剣道、アーチェリーの3部門。女子サッカー部門は喜多美咲さん、剣道部門は辻かなでさん、アーチェリー部門は馬場新さんがそれぞれ最優秀賞を受賞しました。



完成したポスターは、大会プログラムに掲載するほか、競技会場など市内各所に掲示予定です。(2月28日、市庁舎)

新型コロナウイルス感染症に関する相談先

- ◆感染の疑いがある場合や感染に関する一般的な相談：
北海道健康相談センター ☎0120・501・507、24時間
 - ◆陽性になり自宅で療養している人の体調などに関する相談：
北海道陽性者健康サポートセンター ☎0120・303・111、24時間
- ※感染の不安やご自身の健康が心配な場合には、健康推進課でも相談を受け付けています。(☎25・9721)